

セキュリティソリューション

自動車業界向けセキュリティセミナー

- ・自動車システムに対してセキュリティ対策が必要である背景や理由を、事例を通して解説
- ・セキュリティ対策が必要な自動車システム開発する上で、参考にするべき規格とセキュリティガイドラインを解説
- ・自動車システム上にセキュリティ対策を実現するために、必要な機能、実装方法および評価手法を解説
- ・脅威分析、脆弱性分析の概要解説と実施体験を通じて、分析の目的、分析手法および一連の手順を習得

- ・費用 24万円/回 (全12回288万円)
- ・時間 2時間/回
- ・参加人数 制限なし
お客様にて会議室をご用意いただきます。
会議室の収容人数まで参加いただけます

- ・企業様単位で開催致します
- ・セミナー内容のカスタマイズは、別途お見積りにより承ります
- ・オンライン開催対応

No.	タイトル	概要
第1回	組込みセキュリティ超概論	ITセキュリティと組込みセキュリティの違い、セキュリティ対策の3本柱の紹介
第2回	自動車業界のセキュリティ動向解説 WP29 サイバーセキュリティ法規の解説	WP29 サイバーセキュリティ法規の要求事項、および、要求の解釈方法の解説
第3回	標準化動向解説1 ISO/SAE DIS 21434 (前半) Road Vehicles - Cybersecurity engineering	ISO/SAE DIS 21434 の構成、要求事項の紹介、および、要求の解釈方法の解説 前半でISO規格の全体概要を解説
第4回	標準化動向解説2 ISO/SAE DIS 21434 (後半) Road Vehicles - Cybersecurity engineering	後半ではコンセプト／製品開発フェーズの要求事項をより具体的に解説する
第5回	標準化動向解説3 コモンライテリア、IEC 62443	IT系セキュリティ規格“IEC/ISO15408”、制御システム系セキュリティ規格“IEC 62443”の紹介
第6回	脅威分析ワーク1	保護すべき資産やCyberSecurity Goalなど脅威を防ぐ為の必要な情報を分析を通し導出
第7回	脅威分析ワーク2	
第8回	AUTOSAR SecOC の解説 / SHE仕様の解説	CAN通信のセキュリティ対策、SHE (Secure Hardware Extension) 紹介
第9回	アーキテクチャ構築方法の解説/ 暗号鍵管理方法の解説	アーキテクチャへセキュリティ要件の割付け方法
第10回	脆弱性分析ワーク	セキュリティ対応したアーキテクチャに対する脆弱性分析手法と分析の実施
第11回	脆弱性への対策方法の解説	Common Weakness Enumeration(CWE)概要、セキュリティ評価項目導出事例紹介 CERT-C、MISRA-Cとの違い、セキュアコーディング導入方法
第12回	Fuzzing / Penetration Test の解説	Fuzzing / Penetration Test の考え方、実現方法

お問合せフォーム



解説書（文書）販売

WP29／ISO規格の解説書（文書）販売

No.	アイテム	概要
1	WP29解説 Part.1 法規全体の解説（全体向け） Part.2 要求事項の解説（製品の開発者向け） Part.3 想定脅威と対策の解説（分析実施者向け）	以下のスケジュールで進行するWP29のポイント解説 ・2021年1月 サイバーセキュリティ規則発行 ・2022年7月 新型車に対して適用開始（欧州） ・2024年7月 全車種に対して適用開始（欧州） 対策の3本柱の紹介
2	ISO/SAE DIS 21434解説	ISO/SAE 21434 規格の抽象的な要求事項の解釈方法と、要求を実現する際のポイント（注意点）を解説
3	ISO26262とISO/SAE21434に対するマッピング及びギャップ分析調査報告書	ISO26262とISO/SAE 21434のギャップ分析調査報告書

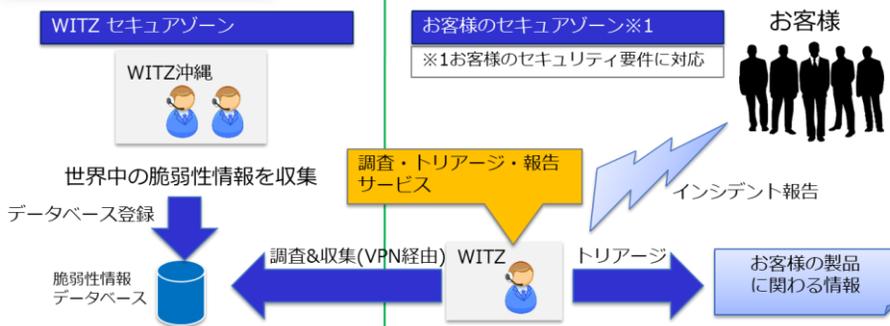
その他解説書（文書）販売

No.	アイテム	概要
1	CWE解説	CWEの解説、事例と対策の解説
2	CERT-CとMISRA-C2012 amendment1 ギャップ分析調査報告書	ギャップ分析結果、対応ツール、CERT-Cの傾向
3	CIAD締結要領書・テンプレート	OEMおよびサプライヤとの開発分担の締結書類（CIAD）の記載要領およびテンプレート
4	脅威分析およびリスクアセスメント要領書・ テンプレート	脅威分析およびリスクアセスメントの手順を示す要領書 およびテンプレート
5	脆弱性分析要領書・テンプレート	システム開発、SW開発、HW開発において実施する共通 の脆弱性分析の手順を示す要領書およびテンプレート
6	ソフトウェアセキュリティ要件： セキュリティ開発技術調査編	ISO15408 Part2、IEC62443-3-3、Cybersecurity Best Practices for Modern Vehiclesの調査報告書

SIRT (Security Incident Response Team) サービス

脆弱性情報収集

沖縄人財を活用してSIRT収集のコストダウン



- ◆ 有力なサイトを活用し、脅威／脆弱性情報を収集
- お客様の機密情報を知らなくてもできる脆弱性情報収集を、沖縄を活用して低コストで実現
- ◆ お客様の要望に応じて、トリアージ&レポートを実施
- 収集した脅威／脆弱性情報から、製品（開発物）に該当する情報を抽出
- 製品（開発物）への具体的な攻撃方法や悪影響をレポート

その他サービス

- ・セキュリティプロセス導入支援
- ・脅威分析／脆弱性分析の実施支援



個別にご提案致しますので、
お気軽にお問合せください